

公益財団法人まちみらい千代田  
第11期第1回理事会 議事録

1 日時

令和5年7月27日(木)午前10時から午前11時15分まで

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア5階506会議室

3 理事現在数

7名

4 出席者

(1) 理事・監事

理事(5名) 保科彰吾、依田昭夫(事務局長兼務)、小川智由、齊藤広子、清水章

監事(2名) 大矢栄一、渡邊牧文

(2) 事務局

事務局長 依田昭夫

グループマネージャー 堀切俊秀、加藤英明、本橋千佐子(以下GMという。)

5 議題

[決議事項]

(1) 議案第1号 公益財団法人まちみらい千代田 第10期事業報告(案)について

(2) 議案第2号 公益財団法人まちみらい千代田 第10期決算(案)について

(3) 議案第3号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について

6 開会、あいさつ、定足数確認

配付資料の確認後、保科理事長が議長となり、開会を宣言した。保科理事長の開会あいさつに続き、依田事務局長より、本日の出席者数は定款第46条で定める定足数を満たしており、本理事会が有効に成立している旨の報告を行い、議事に入った。

7 議事の経過および結果

(1) 議案第1号 公益財団法人まちみらい千代田 第10期事業報告(案)について

(2) 議案第2号 公益財団法人まちみらい千代田 第10期決算(案)について

議事の審議に入る前に保科理事長から議案第1号、議案第2号は、関連があるため、一括して審議を行いたい旨の提案をしたところ、全員異議なく了承した。

はじめに、依田事務局長が第10期事業報告の概要と事業体系及び決算(案)について説明を行った。その後、各GMから担当事業の詳細について説明を行った。

住宅まちづくりグループの事業は、堀切GMが説明を行った。

産業まちづくりグループの事業は、加藤GMが説明を行った。

協働まちづくり・総務グループの事業は、本橋GMが説明を行った。

議案の審議に先立ち、渡邊監事から監査報告(令和5年7月13日)の結果について、決算資料が正確であり、また、理事の業務も適正に執行されている旨の報告が行われた。

なお、説明後に以下のような質疑があった。

(理事)

住宅まちづくり事業で、マンション管理組合に関する相談は、窓口、メール、オンライン、電話等のなかでどの方法が多いのか。マンション管理士が常駐しているが、機能しているか。

(事務局)

メールや電話での相談が多いが、マンション管理士が常駐しているので迅速かつ適切なアドバイスをすることが可能となっている。オンラインでの相談は管理計画認定制度に関する問い合わせやその事前説明が多かった。

(理事)

マンション再生方針検討助成について、助成の内容はどのようなものか。

(事務局)

築30年以上の高経年マンションが対象で、建物再生に関する方向性の検討など初動期のサポートが主な内容となっている。

(理事)

ビジネス起業塾の開催について、女性起業家編と一般起業家編との違いは何か。性別を限定した内容に見えるが、昨今の多様性の議論もあり見直しを図ってはどうか。

(事務局)

起業を目指す女性は物販を主な事業として想定するケースが多いため、一般編よりもマーケティング等に関して重点を置いた内容となっている。事業開始当時から女性の起業に特化した内容を期待する声があったが、社会情勢が変化していることも考慮し今後検討する。

質疑応答後に、本議案を出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

### (3) 議案第3号 公益財団法人まちみらい千代田 評議員会の開催について

依田事務局長が第11期第1回評議員会の開催日時・場所及び議題の説明を行った。

その後、本議案を出席理事に諮ったところ、全員異議なく議決した。

## 8 閉会

以上、本日の理事会は、議案の審議を終了したので、午前11時15分に保科理事長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、理事長および監事がこれに記名、押印する。

令和5年7月27日

公益財団法人まちみらい千代田  
第11期第1回理事会

理 事 長      保 科   彰 吾      ⑩

監      事      大 矢   栄 一      ⑩

監      事      渡 邊   牧 文      ⑩